



市民が集う、まちづくりの拠点がもうすぐ完成します

市長 宮澤宗弘

工事が進み、建物が遠くからも見えるようになりました。建物の構造、機能等をご観いただく現場見学会には、延べ288人の皆さんに参加いただきました。しゅん工まで残すところ3カ月程になり、来年1月には内覧会も予定しています。いよいよ市民の皆さんが集う、まちづくりの拠点、新本庁舎が完成します。この庁舎を中心に、より市民の一体感が醸成され、安曇野市になって良かったと思われるよう、今後も市民サービスの向上に努めてまいります。



柱の設置作業

④ 1階部分工事
(平成26年2月)

① 起工式直後
(平成25年3月)



4階から1階まで見通せる吹き抜け

⑤ 2階部分工事
(平成26年3月)

② 基礎工事
(平成25年6月)



安曇野赤十字病院屋上から見る新本庁舎

⑥ 4階部分工事
(平成26年7月)

③ 1階床部分工事
(平成25年12月)

(左ページの上へ)



新本庁舎建設工事の進捗状況

新しいまちづくりの拠点完成間近

最上階の部分まで工事が終わった新本庁舎。工事の進捗状況は、出来高71パーセント（8月末）でほぼ予定どおりに進んでいます。12月19日のしゅん工まであと3カ月となった建設工事のこれまでの様子を振り返ります。

新本庁舎建設 ニュースNo. 17

注目情報

1

市民の声 現場見学会に参加して



しもせじゅんこ
下瀬純子さん
(豊科)

安全性や機能性をよく考えて作られている建物だと感じました。外観の印象もこのまちに合っていると思います。市民の憩いのスペースもあるそうなので、完成後は、屋上からアルプスの山々を見たいと思っています。



仮囲いにアート展示

工事現場を囲う仮囲いに、市内4つの高校の美術部制作の絵や市民の皆さんの笑顔写真を使ったモザイクアートを飾っています。(9月4日撮影)

現場見学会

第4回現場見学会を8月31日に開催しました。午前の部、午後の部合わせて120人の市民の皆さんが参加しました。



今後の予定

工事は、9月末から外周を覆う足場が順次外され、新本庁舎の全体的様子が分かるようになります。10月からは外構と内装工事が本格化し、多い日は約300人が作業に従事します。

安全、安心で、市民の拠り所となる庁舎 (庁舎の機能・構造)



免震装置

新本庁舎は、災害発生時の防災拠点として大震災にも対応できるよう、免震構造(柱頭免震)を採用しています。円筒型の天然ゴム製の免震装置が地下駐車場の64本の柱の上に取り付けられています。(上写真矢印部分)

眺望コーナー

4階の北西には、屋根がないオープンスペースがあります。完成後は、来庁者の憩いの場として眺望コーナーとなり、北アルプスのパノラマを堪能できます。

